



会長兼最高経営責任者からのメッセージ

今週、取締役会は年末の重役会議を開催し、Carlisleの2021年の業績と2022年以降の自社の計画を見直しました。サプライチェーンの制約、インフレ圧力、来年に持ち越すCOVID-19対策という課題にもかかわらず、当社は繁栄を続けています。当社のリーダーシップチームが取締役に提示した2022年の計画は、継続的な改善という自社の企業文化、多くの重要な構想を今後も発展させていくとともに、Vision 2025すべてをサポートするものです。2021年の業績に加えて、当社が未来に描く戦略的イニシアチブの達成は、全世界にいる当社従業員の努力、献身、支援の産物となるものです。私も取締役会の他のメンバーも、こういった困難の最中、Carlisleを支持するため皆さんにご尽力いただいたことを大変誇りに思い、感謝しています。

私たちの健康や安全に重くのしかかり続け、日常生活に影響を及ぼし、ビジネスに注力し続けるという当社の決意を試す、新型のウイルス変異株と直面した状態での世界的なCOVID-19パンデミックが来月で3年目に入ります。新たなオミクロン変異株は急速に広がるウイルス株であるとして、これまでにない不安感をもたらし、私達の医療システムを圧迫しています。明るいニュースとしては、予防接種や代替薬や代替療法が、ウイルス感染者の重症度軽減に役立つと思われるということです。今回もすべての従業員の方々へのお願いとして、今後も気を抜かず、COVID-19予防接種を受けることを含め、ご自身、ご同僚、お客様、ビジターの方々、ビジネスパートナー、コミュニティを守るべくベストプラクティスを継続していただきたいと思います。皆さんがお互いの健康と安全に配慮されたことで、私たち全員が色々な意味で救われたわけです。お互いの目配り、周りの人々への心遣いをされる皆さんに感謝します。

先週末、100人以上の従業員を抱える米国の民間雇用者に対し、中断されていたCOVID-19ワクチン接種または検査手続きの義務化に関する方針の実施を義務付ける、OSHAによる緊急暫定基準(「ETS」)が連邦裁判所によって復活しました。さらなる潜在的な法的課題と新たな司法判決を受けて、Carlisleは2022年1月10日までに必須のワクチン接種(許可免除が適用されない限り)において必要なETSポリシーを実施する予定です。週次検査(およびマスク着用)をされる米国の従業員の方々、2022年2月9日までに検査を開始する必要があります。ETSポリシーの詳細については、皆さんにお伝えする予定です。

年末休暇に向かうにつれて、自分たちの幸運、家族、住んでいる地域社会に想いを馳せましょう。また、COVID-19によって愛する人を失った人や、孤立、メンタルヘルスの危機、依存症、失職その他の苦しみを経験した人を思い出しましょう。

悲しいことに、Carlisleでは最近、COVID-19の合併症によりチームメンバー2人を失いました。

テネシー州ジャクソンのIT技術者、Lorenzo Mendietaさん、
イリノイ州グリーンビル工場のオペレーター、Lloyd Rogersさんです。

どちらもCarlisleの立派な貢献者であり、多くの人々の友人であり、家族に愛された方たちでした。
LorenzoとLloydを偲ぶすべての方々に、私たちよりお悔やみ申し上げます。

皆さん全員に、ご家族、ご友人との喜びと安心感に満ちたホリデーシーズンを幸せに過ごされますようお祈りいたします。2021年の全ての成果に非常に満足、感謝するとともに、手を携えてVision 2025の旅を続ける皆さんが新しい年に貢献してくださるのを楽しみにしています。

今後ともよろしくお願いいたします。

Chris Koch
会長兼最高経営責任者
2021年12月20日